

## 高病原性鳥インフルエンザの情勢(令和6年2月15日)

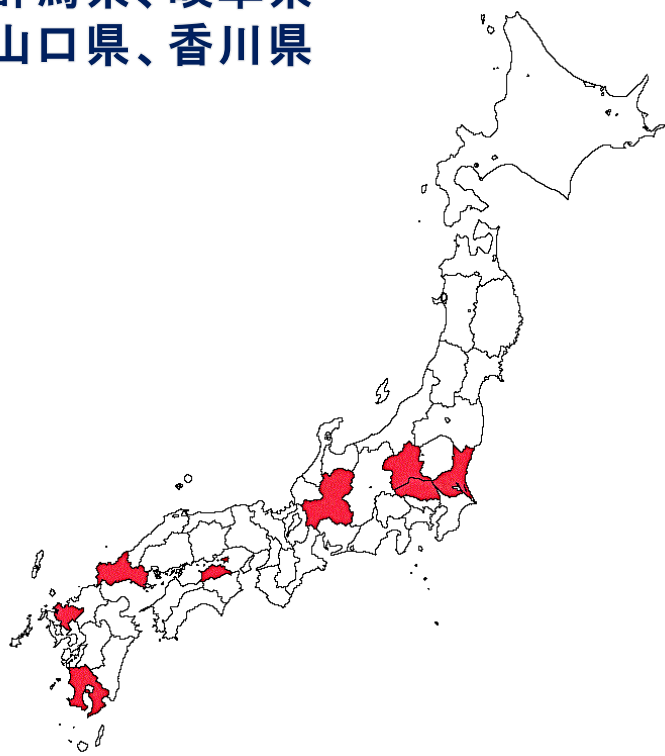
◆今シーズン(令和5~6年)現在までに、家禽農場で8県・9例、死亡野鳥等で25道都県・105例確認され、家禽農場ではH5N1、H5N6亜型、死亡野鳥等ではH5N1、H5N6、H5N5亜型が検出されており、依然警戒が必要です。

### 養鶏農場(R6.2.15)

佐賀県、茨城県  
埼玉県、鹿児島県(2例)  
群馬県、岐阜県  
山口県、香川県

### 死亡野鳥等(R6.2.15)

北海道、宮城県、鹿児島県  
岡山県、千葉県、鳥取県  
香川県、高知県、富山県、  
東京都、佐賀県、新潟県  
宮崎県、岐阜県  
熊本県、茨城県  
滋賀県、長崎県  
福岡県、青森県  
大阪府、兵庫県  
神奈川県、群馬県  
岩手県



◆2月13日、大阪府堺市で死亡ハシブトガラス15羽の鳥インフルエンザ簡易検査陽性がまとまって確認されています。

◆飼養衛生管理基準の遵守を基本に、農場に出入りする人、資機材、車両等の消毒など衛生対策、普段は目が届きにくい場所も含んだ野生鳥獣の侵入防止、毎日の健康観察と異常の早期発見・早期通報の徹底をお願いします。